# Mini piano concert

2017.10.28, Sat. 15:00-15:30

#### **♣** Section I

- 1. *F.F.Chopin Fantaisie-Impromptu op.66 cis-moll* 1834年作曲(24歳)
- 2. L.v.Beethoven Sonate op.13 "Pathétíque" 2<sup>nd</sup> mov. As-dur 1798-99 年 作曲(27-28 歳)
- 3. L.v.Beethoven Sonate op.27-2 "Mondschein" 1<sup>st</sup> mov. cis-moll 1801年作曲(30歳)
- 4. F.Liszt Liebesträume Nr.3 S.298 As-dur 1845年作曲(33歳), 1850年 ピアノ独奏用編曲(38歳)

# Minikonzert für Klavier

### 一作曲家(生年,没年)出身地-

- Johann Sebastian Bach (1685.3.31-1750.7.28 65 歳) Eisenach
- Wolfgang Amadeus Mozart (1756.1.27—1791.12.5 35歳) Salzburg
- Ludwig van Beethoven (1770.12.16—1827.3.26 56 歳) Bonn
- Frédéric François Chopin (1810.3.1–1849.10.17 39 歳) Żelazowa Wola
- Franz Liszt (1811.10.22–1886.7.31 74歳) Raiding

#### ◆ ふたことみこと

老若男女、ピアノに限らず楽器を演奏することを楽しむ人は少なからずいるでしょう.でも例えば、クラシックに関して言えば、アマチュアには気軽な発表の場はありません.自分たちでどこか会場を見つけてコンサートを企画するか、音楽教室の発表会に出るぐらいしかありませんが、いずれも出演までの敷居は低くありません.もっと気軽に、仲間内で集まってちょっと演奏を楽しもう!というようなことも、日本の住宅事情ではなかなか厳しく、騒音で訴えられそうです。よって十分な練習時間もとれません.欧州ではもっと音楽が社会に根付いていて、アマチュアも気軽に演奏を楽しみ、社会もそれに寛容なのですが、残念ながら日本はそこまで文化芸術が成熟していません.

日本でアマチュアが気軽に演奏できる場があるのは、実は学生のうちだけかもしれません、学園祭はそんな場の一つでしょう、折角の機会ですから、積極的に利用しない手はありません、残念ながら、当大学にはクラシック演奏に関係する音楽系サークルは現在ありません(吹奏楽部に怒られそうだ…)が、場を提供したり、お気楽に弾いていればそのうちできるかもネ、ホントは「ピアノ喫茶」なんかが良い感じなんですが、人手と食品提供の敷居の高さがゴニョゴニョ…。まぁそんなわけで、そんな場を設けしばらく続けてみたら人が増えるかなと思った次第です……嘘です。自分が気軽に弾いて楽しみたいだけです。

### ◆ 作品解説っぽいことを書いてみたいが多分無理だ…。いや、あきらめるな!

- [1].ショパン作曲のよく知られた名曲で、ご存じの方が多いでしょう.ショパンの「自分の死後、燃やして処分して」という遺言にそむき 1855 年に出版されました.そんな遺言せずに自分で燃やせばいいのに、結局残して欲しかったってことですよね.中間部のゆったりしたところが美しい曲です.
- [2].ベートーヴェンの3大ピアノソナタの1つ.「悲愴」の名で知られる. 某漫画の千秋くんに「悲愴じゃなく悲惨だ!」と言われないようにしましょう.
- [3].ベートーヴェンの3大ピアノソナタの1つ.「月光」の名で知られる.ベートーヴェンのソナタは「ひたすら格好いい」の一言に尽きます.彼のソナタはどれも私には「どーよこの格好良さ!こんなカッチョイイ曲を作った俺様格好いいでしょ?」と言ってるように思えます.
- [4].第3番というからには他もあるのか?それともそういう名前なのかと疑問でしたが,第1~3番の3曲あるようです。「3つの夜想曲」という副題をもち、優美なゆったりしたメロディが奏でられます。もとは歌曲の3曲をピアノ独奏用に編曲したわけですが、楽譜では大抵「愛の夢 第3番」で1つのタイトルのように表記しちゃうから、他2曲が不遇で可哀想だよね。

といったところで、やっぱり解説は無理っぽい.ともかく、200 年経っても愛され続ける曲を書くというのは凄い! クラシックっていいですね.帰宅後は是非、プロの演奏家の名演を聴いて楽しんで下さい.